

令和7年度（2025年度）

実績報告書

Ⅰ. 申請者の概要

団体名	和泉商工会議所
代表者職・氏名	会頭 山本 恭弘
所在地	〒594-1144
	大阪府和泉市テクノステージ三丁目1番10号
設立年月日	平成06年04月01日
職員数	17
うち経営指導員数	8
所管地域	和泉市
管内事業所数	5,742（令和3年経済センサス 参照）
うち小規模事業者数	3,822（令和3年経済センサス 参照）
会員数	2,330（令和6年12月31日現在）
組織率	40.6%
担当者職・氏名	中小企業相談所長 味谷 厚志
連絡先電話番号	0725-53-0320
連絡先メールアドレス	miya@izumicci.jp

□主な事業概要（定款記載事項等）

- (1)商工会議所としての意見の公表、国会、行政庁等に具申・建議、行政庁等の諮問への答申
(2)商工業に関する相談・指導、情報収集・提供、調査研究、講習会又は講演会の開催、施設の設置・維持・運用
(3)商品の品質又は数量、商工業者の事業の内容その他商工業に係る事項に関する証明、鑑定又は検査
(4)輸出品の原産地証明
(5)商工業に関する技術又は技能の普及又は検定
(6)博覧会、見本市等の開催・あっせん
(7)商事取引に関する仲介又はあっせん、紛争に関するあっせん、調停又は仲裁
(8)商工業者の信用調査、観光事業の改善発達
(9)行政庁から委託を受けた事務
(10)社会一般の福祉の増進に資する事業
(11)国際親善の増進を図る事業
(12)上記のほか、商工業者の委託を受けて当該商工業者が行うべき事務(その従業員のための事務を含む。)を処理し、その他商工会議所の目的を達成するために必要な事業

(1) 所管地域の産業経済の現状と課題

当市における総事業所数5,742社のうち小規模事業者数は3,822社であり、66.6%を占めている（令和3年経済センサス参照）。産業別には、建設業、不動産・物品賃貸業、製造業において小規模事業者の占める割合が高い。付加価値額が大きな産業としては、住宅賃貸業、保健衛生・社会事業、小売業、建設業があり、付加価値額のうち第1次産業が0.1%、第2次産業が36.8%、第3次産業が63.1%を占める。

<課題>

各業種とも共通しているのは、慢性的な人材不足である。多様な人材確保やIT・DX化による事業継続支援、脱炭素経営に向けた取り組み等が急務となっている。また借入過多による廃業や返済条件緩和など資金繰り支援も非常に厳しい状況である。

製造業及び建設業においては、コロナが収束したことにより受注量は増加傾向にあるが、昨今の情勢の変動による人件費の高騰及び製造原価等の高騰により、利益確保が深刻化している。また、小売業・サービス業においても、コロナ禍からは客足が回復しつつあるものの材料費の高騰、人件費等の高騰により収益基盤が脆弱化しているため、事業計画書策定を含めた経営力向上支援が必須となっている。

(2) 所管地域の活性化の方向性（事業の目標）

当市において小規模事業者は7割近くを占めており、地域経済や雇用促進において非常に重要な役割を担っている。物価高や人件費等の高騰により、小規模事業者には事業存続及び持続的発展のための伴走型支援が一層急務になっている。「小規模事業者支援法」に基づき、資金繰り支援、人材確保支援、IT・DX化、事業承継、脱炭素経営など多様化・複雑化する経営課題の解決に向けて各種支援機関との連携強化を図りながら支援を実施していく。また小規模事業者の成長を根本から支援していく事により、付加価値額の向上を図り地域全体の産業の活性化に繋げていく。

多くの小規模事業者が市場変化や制度改正等の影響により自己資本並びに収益基盤が脆弱化している状況だが、日々変化する外部環境への対応と内部環境の改善及び経営基盤拡充を模索している。そのためには、経営支援事業及び地域活性化事業をニーズを把握して総合的かつ的確に支援を行っていくことが目標である。特に「経営課題の抽出・把握」に向けてしっかりと傾聴することで課題解決に向けた「分析・提案・支援実施・フォローアップ」の伴走支援を実施するとともに、国、府、市、各種支援機関並びに専門家と連携を図り、最新の情報提供と支援策の提案を推進していく。

(3) 事業を実施した効果

<経営相談支援事業>

管内事業所は企業努力により売上については横ばいもしくは増加している。しかし賃上げや仕入等経費高騰が原因で利益薄が多く見受けられ、資金繰り安定化のため金融支援を行った。また法人成りを含めた法人設立による労務支援や、ふるさと納税品出品支援など販路開拓支援も実施し、初期費用を抑えながら売上確保に向けた支援が実施できた。

<専門相談支援事業>

小規模事業者が直面する専門的な課題解決に向けて当所提携専門家（弁護士、税理士、中小企業診断士、司法書士、行政書士、社会保険労務士等）との連携により、税務処理に係る相談、法人成り手続き相談、許認可取得相談等の経営指導員同席による三者面談を実施することができた。

<地域活性化事業>

求人求職マッチングフェア、人材ニーズ支援事業、ダイバーシティ推進事業、女性活躍支援事業、人材確保支援事業、脱炭素支援事業など当所幹事事業及び広域連携事業も、事業計画に沿った実施内容とする事ができ、参加事業所からも高い満足度を得る事ができた。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題・次年度への取り組み

今年度は、資金調達支援など経営手法についての相談が多かった。来年度も金融支援（資金調達・借り替え資金）についての相談が増加すると思われる。厳しいながらも小規模事業者は工夫し事業継続策を見出しているため、経営課題の解決に向けて、引き続き「経営課題の抽出・把握・分析・提案・支援実施・フォローアップ」のPDCAサイクルに沿った支援及び個者支援を強化していく。また、販路支援や事業計画書作成支援により、稼ぐ力を前向きに積極的に支援していく。

また、異業種交流をしたいという声もあるため、地域活性化事業等を通じて交流会や意見交換会、マッチングを実施していく。来年度以降も、国、府、市、各種支援機関並びに専門家との連携により、スピード感を持った情報提供と支援策の提案を積極的に推進していく。

和泉商工会議所

前年度支援企業数		350 社				
支援メニュー		単位	当初計画	変更計画	実績	達成率
1	事業所カルテ・サービス提案	事業所	380	410	449	118.2%
2	支援機関等へのつなぎ	支援数	5	17	17	340.0%
3	金融支援（紹介型）	支援数	90	55	49	54.4%
4	金融支援（経営指導型）	支援数	60	75	73	121.7%
5	マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	5	0	0	0.0%
6	資金繰り計画作成支援	事業所	20	10	10	50.0%
7	記帳支援	事業所	60	45	38	63.3%
8	労務支援	支援数	60	80	76	126.7%
9	人材育成計画作成支援	事業所	0	0	0	-
10	マーケティング力向上支援	事業所	0	0	0	-
11	販路開拓支援	支援数	40	61	62	155.0%
12	事業計画作成支援	支援数	30	52	51	170.0%
13	創業支援	事業所	40	36	41	102.5%
14	事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	0	0	0	-
15	コスト削減計画作成支援	事業所	0	0	0	-
16	財務分析支援	事業所	5	5	5	100.0%
17	5S支援	事業所	0	0	0	-
18	IT化支援	事業所	0	0	0	-
19	債権保全計画作成支援	事業所	0	0	0	-
20	事業承継支援	事業所	0	0	0	-
21	災害時対応支援	事業所	0	0	0	-
22	フォローアップ支援	事業所	23	0	0	0.0%
23	結果報告	事業所	380	410	451	118.7%

小規模事業者は、様々な価格が高騰しているため資金調達支援の相談が増加する見込みである。日本政策金融公庫や民間金融機関との連携を一層図っていくことが重要となる。労務支援・記帳支援など多様化・専門化する相談に対しては、専門家（士業等）との三者面談にて課題解決に導いていく。

支援のポイント・成果

今年度は、金融支援や労務支援、販路開拓支援についての相談が増加した。諸経費等高騰のため資金繰り安定化による相談が多く、厳しいながらも値上げ交渉など小規模事業者は工夫し事業継続策を見出していた。金融支援では融資実行後の経過観察にも注力し資金導入効果の調査を行うことにより、資金繰りの安定化に繋げる支援とすることができた。労務支援については、法人設立等により社会保険新規適用及び労働保険成立など、書類作成支援から保険料の計算についても指導できた。

また販路支援では、現状における販促手法を聞き取り、BtoB及びBtoC事業者それぞれにマッチした販路計画を提案した。出来るだけ初期費用は抑えながら効果が見込める「ふるさと納税」や「各種商談会」などを活用し、売上増加策を提案することができた。

Ⅱ 専門相談支援事業

事業名		単位	当初計画	変更計画	実績	達成率
24	法務相談	日数	5	0	4	80.0%
25	税務相談	日数	40	0	62	155.0%
26	金融相談	日数	0	0	0	-
27	労務相談	日数	10	0	10	100.0%
28	その他相談	日数	50	0	38	76.0%

支援のポイント・成果

専門的かつ緊急性の高い様々な経営課題に対して、当所提携専門家（弁護士、司法書士、中小企業診断士、行政書士、税理士、社会保険労務士等）と連携し事業を実施した。経営指導員同席による三者面談を随時早期に実施し、的確な対応により課題解決に向けての支援を行った。法人設立や許認可取得、各種補助金申請等の経営力向上に資する相談の他、内部管理や社内外のトラブル等に至るまで様々な相談に対して、迅速かつ適切に対応し課題解決に導くことができた。

【具体的な相談内容】

法人設立等登記:8件、許認可申請:2件、補助金申請:13件、税務:62件、労働問題・労務:10件、民事・相続関係:4件、取引・契約関係:8件、マーケティング:2件、開廃業:1件、事業計画:3件、経営改善:1件。相談支援企業数:111件、延べ相談件数:114件、支援日数:114日。

事業名		求人・求職マッチング事業		事業番号	I	新規/継続	継続		
想定する実施期間		平成24年度～	年度まで	14	年目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	日本の労働人口は1998年をピークに減少し、高齢者人口割合が29.3%と世界最高水準に達している。就業者総数に占める65歳以上の割合も13.5%と高く、働く意欲のある高齢者や地元で働きたい若年層が多い一方、市内中小企業の認知度が低く人材不足が深刻である。このため、中小企業と求職者のマッチングを図る合同就職面接会・説明会を開催し、企業の人材不足を解消するとともに、全ての働く意欲のある人々が能力を発揮し、安定した生活を送れる社会の実現を目指す。また、これにより中小企業の認知度向上や雇用の安定を図る。 大阪府の有効求人倍率は約1.21倍と改善傾向にあるが、求職者の希望職種の偏りや大学新卒者の大手志向により、中小企業や小規模事業者では人材不足が深刻化している。これを受け、合同就職面接会・説明会を開催し、人材確保と企業の認知度向上を図るとともに、助成金情報の提供で雇用の維持・拡大を目指す。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内中小企業 20社 若年者、中高年齢者、障がい者、コロナ禍による就労困難者 等							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	和泉市就職情報フェア 開催日時：令和8年2月20日（金）13:00～16:00 開催場所：和泉シティプラザ 3Fレセプションホール 求人企業数：18社（支援企業数：17社） 来場求職者数：166人 本事業は、管内小規模事業者の人材不足を解消するために、「大阪府労働環境課」「ハローワーク泉大津」「和泉市」等と連携を図り実施した。 求職者に対しては、和泉市全世帯に対し周知・広報するために、市広報誌に折り込みチラシを同封し広報活動を実施した。また乗降者の多い南海電鉄泉北線「和泉中央駅」やJR「和泉府中駅」及び官公庁・市内公共施設にチラシ等を掲載依頼した。また大阪府労働環境課での労働相談・情報コーナーやシニア向け仕事説明会等6ブースを設置を行った。 求人企業の発掘については、商工会議所の広報やSNSによる周知や経営指導員による巡回指導時において本事業の開催趣旨を説明し、募集する職種の選定や合同面接会の手法について説明を行った。結果として、支援企業数は20社の目標に対して17社の実績、来場求職者数は、100人の計画に対して166名の実績となった。成果として、就職内定企業数は5社の計画に対して13社で、17人の就職内定者となった。							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載> ①府施策連携 和泉市就職情報フェアにおいて、大阪府によるシニア向け仕事説明会や労働相談コーナーを設置し支援することができた。 ②広域連携 ③市町村連携 求人事業所及び求職者に対して本事業の開催周知を実施したことで、参加事業所の確保及び求職者数の確保につなげることができた。 ④相談相乗 本事業参加企業に対して、適正な労務管理に向けた指導と各種助成金に関する理解度の向上を図ることができた。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	17.0	支援実績率	85.0%	満足率	88.2%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	就職内定企業数						
		数値目標	5社	実績数値	13社	目標達成度	260.0%		
	成果の代表事例	求人募集（倉庫内作業）に対して4名の面接を行い、2名の方が採用された。特にフォークリフト運転技能者が採用できたことで、企業側が求める人材と求職者の求める職種がうまくマッチングすることができた。企業にとっても今後の経営活動に適した人材を採用に至ったことで、企業としての将来性を高める成果を得る事ができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	100人	目標値(実績)	166人	目標達成度	166.0%			
	和泉市就職情報フェア 求職者参加者数：166人								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	和泉市合同就職説明会・面接会の広報活動については、和泉市内全世帯や様々な場所に配架したが例年のような参加者に繋がらず減少傾向にある。求職者は大手企業に就職を希望する傾向にあり、小規模事業者が中心で開催する合同就職説明会は参加者が集まりにくくなっている。スポットワークから定職、長期雇用につながっていくことが増えているが、積極的な広報、複数開催も視野に関係機関と情報交換をしながら引き続き検討していく。また、採用に至らなかった事業者には、求人票の書き方及び求人募集方法、周知方法等の指導を行っていく。							

5-2. 地域活性化事業 事業調書（実績）

和泉商工会議所

事業名		人材ニーズ対応支援事業			事業番号	2	新規/継続	継続																																					
想定する実施期間		令和6	年度～	年度まで	2	年 目	※複数年段階的实施事業は 別紙にて計画を提出すること																																						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような 状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	中小企業、小規模事業者を巡る環境がめまぐるしく変化する中で、売上拡大や資金繰り等の日々の経営課題に向き合う背景に、人材不足や人材育成など人材に関することが大きな課題となっている。しかし、人材採用に係る課題に正面から向き合い、採用に至るまでは相当厳しい状況である。 中小企業においては依然、人材不足が慢性化しており、求人に対するニーズは常に存在している。そのため採用という選択肢だけでなくそれ以外の手法を取り入れ、慢性的な人手不足の解消につなげたいという需要は大きい。そこで従来の雇用・採用形態だけにとらわれず副業・兼業者、業務委託などの新たな方式により「プロ人材」の活用を積極的に行い、経営課題解決や企業成長を後押ししていき地域経済活性化を図ることを目的とする。																																											
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内中小企業、小規模事業者 30社																																											
	実施時期・具体的な 内容及び事業手法	「プロ人材」活用セミナー ○事業手法：人材育成型 ○開催時期：令和7年10月6日（月） ○講 師：関西圏雇用労働相談センター長 大阪産業局 コーディネーター (株)山陽マーク製作所 代表取締役 アクサ生命保険(株)大阪南営業所長 ○手 法：リアル開催 ○内 容：自社の新たな成長に向けて必要な人材像を明確にし、実務経験が豊富な即戦力のプロフェッショナル人材の活用を推進するセミナーを開催する。 ○協 力：大阪産業局「OSAKAしごとフィールド中小企業人材支援センター」、テクノステージ和泉まちづくり協議会、トリヴェール和泉西部地区連絡協議会、アクサ生命保険(株)大阪南営業所など ○開催場所：和泉商工会議所 ○参加者：33社 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載> <table><tr><td>①府施策連携</td><td colspan="8">大阪府商工労働総務課・大阪産業局と連携により企画、運営等の協力を仰ぐとともに「中小企業のための人材採用コンシェルジュ事業」の案内も実施する。</td></tr><tr><td>②広域連携</td><td colspan="8"></td></tr><tr><td>③市町村連携</td><td colspan="8"></td></tr><tr><td>④相談相乗</td><td colspan="8">各種労務管理における支援や活用可能な助成金の案内などを実施し内部環境強化も図る。</td></tr></table>								①府施策連携	大阪府商工労働総務課・大阪産業局と連携により企画、運営等の協力を仰ぐとともに「中小企業のための人材採用コンシェルジュ事業」の案内も実施する。								②広域連携									③市町村連携									④相談相乗	各種労務管理における支援や活用可能な助成金の案内などを実施し内部環境強化も図る。							
	①府施策連携	大阪府商工労働総務課・大阪産業局と連携により企画、運営等の協力を仰ぐとともに「中小企業のための人材採用コンシェルジュ事業」の案内も実施する。																																											
	②広域連携																																												
③市町村連携																																													
④相談相乗	各種労務管理における支援や活用可能な助成金の案内などを実施し内部環境強化も図る。																																												
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	33.0	支援実績率	110.0%	満足率	81.8%																																				
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	代表指標	多様な人材の確保への意欲が高まったと答えた企業の割合																																										
		数値目標	80	実績数値	81.8%	目標達成度	102.3%																																						
	成果の代表事例	副業・兼業人材や業務委託による「プロ人材」活用の具体像を理解し、自社の課題に合った人材活用方法を検討できる企業が増加した。セミナー参加企業の中には、専門人材とのマッチングにより新規事業の立ち上げや業務効率化を実現した事例も生まれ、慢性的な人手不足の解消に向けた新たな選択肢を得る成果につながった。																																											
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度	#DIV/0!																																						
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	中小企業では人材不足が慢性化し、採用活動に多大な時間とコストがかかる一方、求めるスキルを持つ人材に出会えない状況が続いている。さらに既存社員の育成に割く余力も不足し、経営課題の解決が遅れがちである。従来型の採用だけに依存する体制から脱却できず、人材確保の選択肢が広がらないことが大きな課題となっている。																																											

和泉商工会議所

事業名		中小企業のためのダイバーシティ推進事業		事業番号	3	新規/継続	継続																													
想定する実施期間		令和6年度～	年度まで		2	年 目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																													
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	人口減少の局面に対して人材確保に向けて採用活動を積極的に行っているものの、売り手市場が続いてる昨今、企業にとっては採用が厳しい状況である。そのため有能な人材を確保し事業の持続的発展を図るには、外国人を含めた多種多様な人材を受入れることが重要である。しかし中小企業・小規模事業者において、ダイバーシティの推進が遅れているのが現状である。そこで、中小企業・小規模事業者に対しダイバーシティの重要性や基礎知識を習得し、外国人留学生を含め多様な人材の雇用に繋げて頂くと共に求職者とのマッチング支援も行うことで人材不足解消と雇用安定を図っていく。人手不足により人材を確保したいというニーズは多数あり、外国人留学生等の雇用を視野に入れている企業も多く、合同企業説明交流会の開催が人材不足解消と認知度向上の好機となる。また在留資格取得申請に関する手法や各種助成金等の情報提供を行い、将来に向けての雇用維持・拡大に繋げる。																																		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内中小企業・小規模事業者 40社 外国人留学生 等																																		
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	①外国人採用の知識習得を目的としたセミナー ○事業手法：人材育成型 ○開催時期：令和7年10月10日 ○講師：大阪出入国在留管理局 在留支援部門 統括審査官 学校法人エール学園 キャリア教育事業本部 本部長 ○手法：リアル開催 ○内容：外国人留学生を中心とした多様な人材を雇用することについて理解を深めて頂き採用意欲を向上させるセミナーを開催する。 ○協力：大阪出入国在留管理局、学校法人エール学園、留学生支援コンソーシアム大阪、テクノステージ和泉まちづくり協議会、トリヴェール和泉西部地区連絡協議会 など ○開催場所：和泉商工会議所 ○参加者数：28社 ②外国人材と企業の合同企業説明交流会 ○事業手法：人材交流型 ○開催時期：令和7年11月11日（留学生ウィークとして就職活動の強化時期のため） ○手法：合同企業説明交流会を実施 ○内容：外国人留学生が多く所属する学校や留学生支援を行う機関と連携し、企業と留学生が相互の意見交換を行うことができ今後の採用に繋がるような会とする。 ○協力：学校法人エール学園、留学生支援コンソーシアム大阪、テクノステージ和泉まちづくり協議会、トリヴェール和泉西部地区連絡協議会 など ○開催場所：和泉シティプラザ ○参加者数：20社・外国人留学生102名 ＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞ <table><tr><td>①府施策連携</td><td colspan="6">「若者・大阪企業未来応援事業」を実施する大阪府就業促進課と連携し、イベント参加企業情報の大阪府への提供やイベント中に大阪府施策の説明時間を設けるなど、同事業への参加誘導に努める。</td></tr><tr><td>②広域連携</td><td colspan="6"></td></tr><tr><td>③市町村連携</td><td colspan="6"></td></tr><tr><td>④相談相乗</td><td colspan="6">採用活動から採用後の労務管理面の支援及び各種助成金の案内などを実施し内部環境の強化を図る。</td></tr></table>							①府施策連携	「若者・大阪企業未来応援事業」を実施する大阪府就業促進課と連携し、イベント参加企業情報の大阪府への提供やイベント中に大阪府施策の説明時間を設けるなど、同事業への参加誘導に努める。						②広域連携							③市町村連携							④相談相乗	採用活動から採用後の労務管理面の支援及び各種助成金の案内などを実施し内部環境の強化を図る。					
		①府施策連携	「若者・大阪企業未来応援事業」を実施する大阪府就業促進課と連携し、イベント参加企業情報の大阪府への提供やイベント中に大阪府施策の説明時間を設けるなど、同事業への参加誘導に努める。																																	
		②広域連携																																		
③市町村連携																																				
④相談相乗	採用活動から採用後の労務管理面の支援及び各種助成金の案内などを実施し内部環境の強化を図る。																																			
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	40.0	総支援企業数(実績)	48.0	支援実績率	120.0%	満足率	85.4%																											
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	多様な人材の採用への意欲が高まったと答えた企業の割合																																	
		数値目標	80%		実績数値	85.7%		目標達成度	107.1%																											
	成果の代表事例	外国人材採用セミナーに参加したことで、在留外国人労働者数の推移や各種在留資格の基礎知識、採用後の手続きの流れなどについて理解を深めていただいた。また、実際に外国人留学生が通う教育機関の就職支援担当者から、留学生の現状や就職活動の傾向、授業への取り組み姿勢などについても話を伺い、外国人材への理解がより一層深まった。さらに、マッチング交流会にも参加し、多くの留学生と直接交流した結果、技術職の募集に対して1名の採用が決定した。企業が求める人物像と求職者の希望職種がうまく合致したことで、双方にとって良いマッチングとなった。企業としても、今後の事業展開に適した人材を確保できたことで、将来的な成長につながる成果を得ることができた。																																		
	その他目標値の実績	目標値 (計画)	100		目標値 (実績)	102		目標達成度	102.0%																											
		外国人留学生等の合同企業説明交流会参加者数																																		
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	外国人材の雇用に関する知識の習得状況や、マッチング交流会後の動きを踏まえ、今後は企業へのフォローアップをさらに強化し、外国人材の採用促進につながるよう関係機関との連携を積極的に進めていきたい。また、交流会に参加した企業が外国人材の雇用をより身近に感じ、人材不足を解消するための有効な選択肢として活用できるよう、継続的な支援を行っていく。																																		

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	28.0	支援実績率	140.0%	満足率	85.7%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	多様な人材の採用への意欲が高まったと答えた企業の割合						
		数値目標	20	実績数値	24	目標達成度	120.0%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	20.0	支援実績率	100.0%	満足率	85.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	採用活動に繋がるネットワークの構築ができた企業の割合						
		数値目標	80%	実績数値	80%	目標達成度	100.0%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）	100	目標値（実績）	102	目標達成度	102.0%		

事業名		女性の就業、定着・活用・戦力化支援事業		事業番号	4	新規/継続	新規		
想定する実施期間		令和7年度～	年度まで	1	年 目	※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	現代の企業において、ダイバーシティの推進とジェンダー平等の実現は不可欠となっているのが現状であり、特に女性の労働市場への参加は年々重要性が増すなど、各企業においても課題となっている。女性が職場で活躍し長期的に定着するためには、仕事と育児の両立支援、キャリアアップ支援など柔軟な働き方の推進による働きやすい環境を整えることが重要である。中小企業・小規模事業者においては人材不足の慢性化が常に存在している中で、女性がより輝くために独自の感性を取り入れ、活躍を推進し、様々な視点や価値観をより引き出し活用したいというニーズが高まっている。本事業では女性がより輝くために独自の感性を活かし女性社員が新たな企業価値向上や新商品発掘、女性の働きやすい環境整備に繋がるセミナーを開催することで、女性が企業内で長期的に活躍しキャリアを築ける環境整備を行い雇用の安定に繋げることを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内中小企業・小規模事業者 40社							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	女性がより輝くために独自の感性を活かすブランディングセミナー、女性の働く環境整備に関するセミナーの開催 ①女性がより輝くために独自の感性を活かすブランディングの知識習得を目的としたセミナー（グループワーク） ○事業手法：人材交流型 ○開催時期：令和7年10月15日 ○講師：(株)PR ○手法：リアル開催 ○内容：各企業において女性がより輝くために独自の能力・感性を活かした新たな企業価値向上・新商品発掘に繋がるブランディングについて学べるセミナーを開催する。また、各企業同士が課題や意見を出し合い、新たな発想に繋げるためグループワークを実施する。 ○協力：テクノステージ和泉まちづくり協議会、トリヴェール和泉西部地区連絡協議会など ○開催場所：和泉商工会議所 ○参加者数：22社 ②女性の働く環境整備に関するセミナー ○事業手法：人材交流型 ○開催時期：令和7年11月21日 ○講師：(株)PR ○手法：リアル開催 ○内容：職場環境、仕事と育児の両立支援、キャリアアップ支援、ワークライフバランスの改善など女性が働きやすい環境作りについて学べるセミナーを開催する。また各企業同士が課題や意見を出し合い、新たな発想に繋げるためにグループ討議を実施する。 ○協力：テクノステージ和泉まちづくり協議会、トリヴェール和泉西部地区連絡協議会など ○開催場所：和泉商工会議所 ○参加者数：19社 ＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞							
		①府施策連携	大阪府就業促進課と事業構築から実施に至るまでの連携を図った						
		②広域連携							
		③市町村連携							
	④相談相乗	労務面及び各種助成金の案内の支援を実施							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	40.0	総支援企業数(実績)	41.0	支援実績率	102.5%	満足率	97.6%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	女性社員の活用・雇用への意欲が高まったと答えた割合						
		数値目標	80%		実績数値	95.4%		目標達成度	119.3%
	成果の代表事例	セミナーを通じて、ある企業では女性社員の声を反映した新たな商品企画チームの立ち上げや、柔軟な勤務制度の導入が検討されるようになった。これにより、今後は女性の定着率向上が期待される。また、グループ討議で得た他社の取り組みを参考に、社内ブランディングの強化にも取り組み始め、若手人材から「働きたい企業」として選ばれるきっかけとなった。							
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	女性の意見を反映する仕組みは動き始めたものの、制度の定着や継続的な意見収集の場づくりが課題として残る。今後、他社事例を活かした社内ブランディング強化を継続し、若手から選ばれる企業づくりを加速させられるように 今後は必要に応じてフォローアップを行い人材不足解消に向けて個社支援を実施していく。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	22.0	支援実績率	110.0%	満足率	95.4%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	女性社員の活用・雇用への意欲が高まったと答えた割合						
		数値目標	80%	実績数値	95.4%	目標達成度	119.3%		
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	19.0	支援実績率	95.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	女性の働きやすい環境整備意欲が向上したと答えた割合						
		数値目標	80%	実績数値	100%	目標達成度	125.0%		
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			

和泉商工会議所

事業名		脱炭素経営へ向けた取組み支援事業			事業番号	5	新規/継続	新規	
想定する実施期間		令和7年度～	年度まで		1年目	※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするためパリ協定締結後、CO2排出量の削減や可視化、省エネルギー政策等の取組みが大企業で進んでいる。和泉市でも令和3年4月1日に「和泉市ゼロカーボンシティ」宣言を表明しているが、市内中小企業・小規模事業者にはまだまだ浸透していないのが現状である。 そこで、商工会議所がカーボンニュートラルに関するセミナー等を実施し、CO2排出量の可視化やSBT取得を積極的に促し、時代に乗り遅れない企業・地域に貢献できる企業が一社でも多く増えることを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内中小企業・小規模事業者 32社							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<中小企業者向けカーボンニュートラルセミナーの開催> カーボンニュートラル及び脱炭素経営へ向けた取組みを現実なものにするために、CO2排出量の可視化や脱炭素経営セミナーを開催する。さらにすでに省エネ等の取組みをしている企業に対して、「中小企業版SBT」の取得を目指すための個別相談支援を実施する。 ○事業手法：人材育成型・ハンズオン型 ○時期：令和7年11月20日(木) ○講師：一般社団法人OSAKAゼロカーボンファウンデーション、SBT取得企業による事例発表 ・一般社団法人JAPANゼロカーボン・スマートシティ・ファウンデーション ・株式会社光明製作所 ○手法：リアル開催 またセミナー開催時や別日程にて中小企業版SBT取得に向けた個別相談による支援の実施 ○内容：セミナー ①CO2排出量の可視化・SBT取得の重要性、②SBT取得への取組紹介 個別相談 SBT取得を目指す企業に対して個別相談による伴走支援を行う。 ○協力：一般社団法人OSAKAゼロカーボンファウンデーション、中小企業基盤整備機構、テクノステージ和泉まちづくり協議会、トリヴェール和泉西部地区連絡協議会など ○開催場所：和泉商工会議所 ○参加者数：29社							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	一般社団法人OSAKAゼロカーボンファウンデーション等と事業構築から実施に至るまでの連携を図った。						
②広域連携									
③市町村連携									
④相談相乗	CO2排出量の可視化やSBT取得に向けた個別相談等を、中小企業基盤整備機構との連携や事業計画書作成支援及び専門相談支援事業などにより、個社支援も実施した。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	32.0	総支援企業数(実績)	31.0	支援実績率	96.9%	満足率	83.9%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	脱炭素経営やSBT取得を実施検討していくと回答した事業所の割合						
		数値目標	80%		実績数値	89.7%		目標達成度	112.1%
	成果の代表事例	カーボンニュートラルおよび脱炭素経営の推進を目的として、CO2排出量の可視化手法および脱炭素経営に関する基礎知識向上につながった。また、参加企業においては、自社の取得の具体化に向けた意識向上が確認され、2社取得に前向きで引き続き個別相談を通じ、一般社団法人OSAKAゼロカーボンファウンデーションをご紹介し今後連携を取りながら「中小企業版SBT」取得に向けた支援を実施する。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)			目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	中小企業・小規模事業者ではカーボンニュートラルへの関心や理解が十分に浸透しておらず、CO2排出量の可視化やSBT取得の必要性が具体的にイメージしにくい点が課題となる。また、人材や資金面での余裕が少ないため、環境対策が後回しになりやすい。商工会議所としては、取組みのメリットを分かりやすく伝え、実践しやすい支援策を提示することで、企業の主体的な行動を促す仕組みづくりが求められる。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	30.0	支援企業数(実績)	29.0	支援実績率	96.7%	満足率	89.7%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	脱炭素経営やSBT取得を実施検討していくと回答した事業所の割合□						
		数値目標	80	実績数値	89.7%	目標達成度	111.2%		
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	2	支援企業数(実績)	2	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	中小企業版SBTの申請に向けた取り組みを進めた事業所数						
		数値目標	2	実績数値	2	目標達成度	100.0%		
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			

事業名		中小企業の地域人材確保支援事業		事業番号	6	新規/継続	新規																																	
想定する実施期間		令和7年度～	年度まで		1年目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																																		
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	人材不足により人材を確保したいという求人ニーズは常に存在しており、様々な求人ツールを活用して認知度を向上させたいという需要は大きい。一方、人材不足の理由として「新規の人材確保が困難になっている」「求人募集を行ったとしても応募がない」ことを挙げる事業所も多い。そこで仕事体験で求職者に実際の業務を体験してもらうことで、これまで関心がなかった業種に対する興味を喚起し、具体的な仕事の内容や職場の雰囲気を肌で感じてもらうことで、求職者の理解を深め、業種や職種に対する意識を変える機会を提供する。また、体験を通じて事業者と求職者双方の相互理解が進み、ミスマッチを減らすことが期待できる。これにより、求職者は自身に合った職場を見つけやすくなり、事業所側も適性のある人材を確保できることで長期的な雇用関係の構築に繋がり、人材不足の解消と雇用の安定を図ることを目的とする。																																						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内・周辺地域の中小企業 50社 若年者、中高年齢者、障がい者、就職氷河期世代の就労困難者 等																																						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	若年者、中高年齢者、障がい者、就職氷河期世代の就労困難者等に向けての仕事体験を実施。 「タイミーを活用し長期採用へ」 開催期間：令和7年10月15日（水）～令和8年1月31日（土） 開催場所：タイミーアプリ上で求職者を募集し、各企業にて仕事体験を行う。 求人企業数：50社 求人企業の発掘にあたっては、商工会議所の広報誌やホームページ、SNS等による周知に加え、経営指導員による巡回指導時に企業の人材ニーズを把握し、募集及び事業への積極的な参加提案を行った。また、タイミーアプリを活用した求職者募集等の広報活動を実施し、幅広い層への周知を図った。募集期間中は、求職者が希望する企業へ応募する仕組みとし、求人企業と求職者の効果的なマッチングを推進するとともに、実際の業務を体験する機会を提供した。これにより、求職者は職場の雰囲気や業務内容、自身の適性を直接確認することができ、求人企業にとっても人材の適性を見極める機会となった。その結果、双方のミスマッチの低減が図られ、長期的な雇用関係の構築に資する事業となった。 ＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞ <table><tr><td>①府施策連携</td><td colspan="7">就業促進課と連携を図り、参加企業にOSAKAしごとフィールドの利用促進等の周知を行った。</td></tr><tr><td>②広域連携</td><td colspan="7">堺商工会議所と連携したことで効果的な広報・募集活動を行うことができた。</td></tr><tr><td>③市町村連携</td><td colspan="7"></td></tr><tr><td>④相談相乗</td><td colspan="7">本事業参加企業に対して、適正な労務管理に向けた指導と各種雇用関連助成金に関する理解度の向上が図られた。</td></tr></table>							①府施策連携	就業促進課と連携を図り、参加企業にOSAKAしごとフィールドの利用促進等の周知を行った。							②広域連携	堺商工会議所と連携したことで効果的な広報・募集活動を行うことができた。							③市町村連携								④相談相乗	本事業参加企業に対して、適正な労務管理に向けた指導と各種雇用関連助成金に関する理解度の向上が図られた。						
	①府施策連携	就業促進課と連携を図り、参加企業にOSAKAしごとフィールドの利用促進等の周知を行った。																																						
	②広域連携	堺商工会議所と連携したことで効果的な広報・募集活動を行うことができた。																																						
	③市町村連携																																							
④相談相乗	本事業参加企業に対して、適正な労務管理に向けた指導と各種雇用関連助成金に関する理解度の向上が図られた。																																							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	50.0	総支援企業数(実績)	50.0	支援実績率	100.0%	満足率	84.0%																															
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	就職内定企業数																																					
		数値目標	10		実績数値		8	目標達成度	80.0%																															
	成果の代表事例	職場体験会終了後、参加した求職者に対し、希望企業での会社訪問や日常業務の見学・体験の機会を提供した。その結果、事前の求人情報だけでは把握しきれない業務内容や職場環境への理解が深まり、企業側が求める人材像と求職者の希望職種との適合性が高まり、双方にとって納得度の高いマッチングが実現した。実際に、体験を通じて相互理解が進んだことにより、採用に至った事例も生まれている。企業にとっては、自社に適した人材を見極めたうえで採用できたことで、早期離職の防止や人材定着の向上が期待され、今後の安定的な経営活動に資する成果となった。																																						
その他目標値の実績	目標値（計画）	100		目標値（実績）	362		目標達成度	362.0%																																
	求職者数																																							
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	職場体験を活用したマッチングの有効性が確認できた。今後は、中小企業の魅力発信を継続するとともに、体験後のフォローアップの充実を図り、長期雇用への円滑な移行を支援する。また、大阪府や民間事業者と連携し、開催時期や実施手法について検討を行い、引き続き適切なマッチング機会の提供に努める。																																						